令和 6 年度第 2 回佐倉市立図書館協議会

開催日時	令和 7 年 1 月 28 日 (火) 午後 2:00~午後 3:20
開催場所	夢咲くら館(佐倉図書館)
出席委員	藤崎 言行委員(委員長)、松橋 明子委員(副委員長)、 佐藤モト委員、西川 豊子委員、齋藤 めぐみ委員、 吉光 孝一委員、金子 拓也委員
欠席委員	田中 雅明委員、松丸 晴久委員、佐藤 融子委員
事務局	佐倉図書館 利光館長、青木副主幹、木股主任主事 志津図書館 小川館長、今田主査 佐倉南図書館 吉尾館長 社会教育課 照井主査
内容	議題 協議事項 ・今後の図書館運営について(近隣市図書館視察報告) ・移動図書館の運営について ・志津分館の休館日について

事務局(佐倉図書館長)

只今より、令和 6 年度第 2 回図書館協議会を開催いたします。

本日の出席委員は 7 名で、委員定数の過半数を超えております。よって「佐倉市立図書館の管理運営に関する規則」第 21 条第 2 項により会議は成立いたします。

委員長

それでは、会議次第 1「今後の図書館運営について(近隣市視察報告)」を事務局より説明をお願いします。

[事務局説明]

「今後の図書館運営について(近隣市視察報告)」について、資料に基づき説明

委員長

近隣市視察報告について説明がありましたが、質問等ございましたらお願いします。

委員

指定管理者制度を導入してもコストカットにならないとありましたが、人件費等で削減になるのが指定管理者制度の 1 つの特徴だと思います。視察した 3 市の場合は、なぜコストカットにならないのでしょうか。

佐倉南図書館長

コストについて、運営費はさほど直営と変わらず、人件費は導入当初は下がりましたが、人件費高騰の影響で同じぐらいになると伺いました。

委員

公の機関で職員が図書館を運営するより、人件費が同じまたは高くなることはないと思います。コストカットは大きな問題なので、理由を細かく調べた方が良いでしょう。

2点目の質問ですが、図書館業務に精通している職員がいることが大切ということですが、この3市にはそのような管理監督している職員がいないのでしょうか。

佐倉南図書館長

監督する職員がいて、仕事をチェックしています。ただ、チェックには図書館業務に精通している職員が必要という意見が視察した市からありました。

委員

3点目の質問ですが、市職員の集約によって全市的な見方で図書館運営を行うメリットがありそうと記載がありますが、指定管理者制度なのに市の職員を集約するという意味を教えてください。

佐倉南図書館長

直営館の場合、地域館ごとに職員がいるのを中央館に集めるという意味です。

委員

中央館は直営で運営し、指定管理にした分館に適切な指示やアドバイスをするという形ですね。

佐倉南図書館長

指定管理者は仕様に基づいてサービスを行うので、館ごとに具体的なサービスを仕様で決めて、そのチェックを中央館で行う形です。

委員

よく保育園である、保育課に優秀な保育士を集約して、指定管理の保育園に対して指導をするのと同じような形ですね。

佐倉南図書館長

そうです。何かあれば相談に乗ったり、毎月会議を行って、問題がないか確認をするというのもしっていて、それを中央館が取りまとめています。

委員

よくわかりました。コストカットの部分だけもう少し掘り下げてください。

委員

まず、議事録の作成に当たって、前々回のように要約にしてまとめていただきたいです。

次に協議事項についてですが、今後の図書館についてコストカットが目的だったのでしょうか。前回、前々回の会議で、図書館に関しては紙であったものが電子化されていく中で、若い方は電子媒体に慣れてきており、幼児向けに関しては紙のままの方がよいという話があったと思います。そのように、本自体が変わってきていて、その中でどう運営するかという話になっていて、コストカットがメインの課題ではなかったのではないかと思います。

それから視察先も、スターバックスと一緒に運営しているところや、建物がすごいところ、世界共通の話なのだから思い切って海外に行くなどした方がよいと思います。大きな方針を決めるという議論をするので、そういうことをしてもよいと思います。反対される方もいるとは思いますが、視察で八千代市、習志野市、船橋市に行き、指定管理者制度でコストカットの話と聞くと、少し残念だなと思います。

現在はAIが発展して、本を読まない、手に取らないで読書感想文が書ける時代に、図書館の存在は何かというのが問われています。

今後のことについて、大きな方針を決めるという認識を皆さんと共有されているか確認したいです。

委員

前々回にスケジュールをいただいたのと、色々な課題出しを行い、前回に方向性の資料をいただき、その資料に基づいて色々な意見を出させていただきました。今回は素案を持ち込まれて意見交換かと思っていましたが、視察と移動図書館車の資料だったので、おかしいなと思いました。

視察報告の最後の一文に、今後の佐倉市の図書館をどのようにしていくか検討する旨が1行書いていますが、この1年間これをやっていたのではないかと思いますし、ビジョン等が語られると期待していました。

忙しい中の視察ということもあると思うので、今後の課題としては図書館協議会を話し合った議事録だけの記録ではなく、それを活かして次の協議会につなげて、提案や質問したことが全て実現するのは難しいですが、ここについてはできたなどという流れを作っていただきたいと思います。

委員長

その通りの話だと思います。

佐倉図書館長

次回の会議の時には、しっかりと議論ができる素材を出せるようにいたします。

私の個人的な意見ですが、管理運営の方法のあり方は手段にすぎず、佐倉市の図書館としてどういうことをやる、こうあるべきというものが先にあり、それに対してどのような管理運営方法がいいのかという議論になるべきだと思います。

指定管理のあり方としては、公務員が運営するより利用者の満足度を上げるとか、消極的ではありますが、人材が不足しているから民間に頼るというものがあると思います。

今後の図書館のあり方については、さまざまなことを考えながらやらせていただきたいと思っています。

委員

図書館は指定管理者制度に合っていないと私は思います。指定管理者を選考する際は、選考委員会の中で詳細な審査をするので、色々な意味で図書館が変革していることを踏まえて指定管理者に応募できないとだめとなります。ただ経費削減のために行うものではないです。

委員

いろいろな意見等もありますが、もっとお金をちゃんと使ったほうが良いと思います。それから、今後必要なサービスがあれば、お金がかかるものでも言うべきですし、納得できない方もいるとは思いますが、十分説得できるような環境になりつつあると思います。

なので、今受けている補助の中でやれることではなく、やることをたくさんあげて優先順位をつけ、やるものを決めたり、お金がかかっても今後の図書館が充実するために必要なことを応援したいです。行う事業などのパッケージを持ってきていただいて、優先順位をつけるなどの議論を個人的にはしたいなと思います。

委員

今回の視察に行った市で、民間ならではのサービスやアイデア、広報の仕方があったとありますが、指定管理にしたから売りとなるものはありましたか。

佐倉南図書館長

今回の3市は偶然、図書館流通センターが指定管理をしていますが、全国規模で指定管理を行っていることから、他の図書館で行っているサービスをパッケージとして持ってきており、特にイベントの充実が図れていました。

委員

それが一番でしょうか。

佐倉南図書館長

サービスの拡充という意味ではそこがまずあったかと思います。

また、LINE やホームページなど、広報の周知の仕方が様々なツールを使って行っており、広報の仕方が企業の方が上手と感じました。

委員

指定管理になる前と後で、司書やパートも含め、図書館に携わる職員の人数は増えたりしたのでしょうか。

佐倉南図書館長

船橋市は、指定管理をする際に、司書が少ないことから、司書資格を持った人などを増やした上で、職員を集約したそうです。

佐倉図書館長

自分の感覚では、人の増減は大きく変わりないように見えました。

ただ、指定管理では欠員が出た際に、他の館から短期的に人を異動させるなどやっていて、柔軟性があるなと思いました。

副委員長

指定管理者制度にはどのようなメリットがありますか。

佐倉図書館長

私もまだ考えがまとまっていません。

委員

図書館の指定管理が良いか悪いかは別として、メリットは幅広くやっているところが指定管理者になれば、他の施設でやっているノウハウを持ってきて活かすことだと思います。行政だと、その地域内で解決しようとして、横の連携があまりないので。

委員長

そのような感じはします。

館長の皆様は、佐倉市の考え方とすり合わせをする部分もあるかと思いますが、図書館の館長として、施設を預かる者として、今後の図書館が指定管理者に移行した場合、こうあるべきもの、譲らないものを持って、市全体の指定管理者制度の中に意見を組み込む、そういう力を持って理論武装をしてもらいたいです。

他にございませんでしょうか。

それでは、この視察の件は終了として、次の移動図書館車の運営について、事務局から説明をお願いします。

[事務局説明]

「移動図書館車の運営」について、資料に基づき説明

委員長

移動図書館車の運営について、4月8日スタートということも含めて説明がありましたが、質問等ございましたらお願いします。

委員

写真を見ましたが、この車にバックモニターはついていますか。

事務局

運転席のルームミラーがバックモニターになっています。

委員

昔に、移動図書館車を運転していたことがあります。周りが見えなく、子ども達もいっぱいいるので、しっかり気をつけてもらえればと思います。

佐倉図書館長

会議の後、実際に実物を見てもらいます。

委員

分かりました。

もう 1 点、移動図書館の役割は図書館のない地域への補完が一番大きく、またコロナを経験してパンデミックの時に移動図書館車が活躍するのはすごくいいと思いました。

それで、説明に各種団体からの依頼による訪問とありますが、これは補完とは違って新たに小回りが利くから行うということですが、年に 2 回という少ない訪問で何をするのでしょうか。

事務局

年に 2 回というのはあくまで案となり、今も施設から来てくれませんかという要望があったりします。例えば高齢者施設など外へ出られない方たちに本を届けるといったことなどを積極的にしていきたいという話です。

通常の運行もあるため、どれぐらい行けるかと考えたとき、まずは 2 回ぐらいやらせていただくのはどうかというのが、今回の案です。

委員

年に 2 回というのは現実的ではないかなと思います。児童施設に行って読み聞かせを行うとかならわかりますが、本を貸すために年に 2 回行ってあまり意味がないのでは。補完以外のサービスを提供するというのであれば、もう少し内容を考えても良いのではないかと思います。

佐倉図書館長

来年度は 1 年目になりますのでお試しいいかと思いますか、このご時世ですので、最初から運用を完璧に決めて多少失敗してもずっと続けるのではなく、トライアンドエラーを繰り返しながら、何年かけて最良な形に高めて行ければいいと思うので、また委員会ごとにご意見をいただければと思います。

委員

分かりました。

委員長

是非、小回りが利くというメリットを活かしてほしいと思います。

委員

今回のことについて、大変すばらしいことかなと思います。

ただ移動図書館とは関係ないところで気になって、ミッション、ブレーキ等に不具合多発とありますが、このような状態は早く変えた方がいいと思います。人命に関わるようなことがあれば、そこは予算とかの話と次元が違うので、遠慮せずどんどん更新すべきだと思います。

委員

旧おぐるま号の時は乗車定員が4名で、今度は2名になりますが、具体的にはいつも4名乗っていましたか。

事務局

現在は運転手と補佐員の2名です。

委員

乗車定員が少なくなることで、今やっている作業等ができなくなることはないでしょうか。

事務局

はい、乗車定員は2名で足りると思っています。

委員

意見ですが、貸出だけではなく、移動図書館に来たら楽しいことができる、本に親しむことができる、親子で公園に行ったときは子どもと触れ合うなどといったことをできると良いのではないのでしょうか。何かと一緒に組み合わせるといふか、貸出だけだとちょっともったいないと思います。

事務局

基本方針にも記載した各種イベントでの訪問なども実は予定をされていて、これから考えていこうと思っています。今まで車体が大きくスペースの問題で難しかったのですが、キッチンカーが出るようなところに行って、図書館を使っていたかのような啓発活動に使おうかと思っています。かわいいデザインですし、みんなに興味を持ってもらい、本を手にとってもらう、イベントをやるなどできたらと思っています。

委員長

新しい切り替え時に、新機軸を立てて、楽しみが含まれている、待っている側の気持ちをもっと豊かにできるような機会にしていきたい。

委員

ヨシタケシンスケさんのデザインを選択されているので、児童向けにしているという方針が見

えるような気がします。それで、ステーションの中で内郷小と和田小の昼休みに行っていて、新たな学校ステーションも検討しているとあります。学校には学校図書館もありますが、兼ね合いは大丈夫でしょうか。

佐倉図書館長

内郷小と和田小に関しては、こちらから要望を聞いたときに応募があったのがこの 2 校と聞いております。

学校図書館に関しては詳しくはありませんが、学校司書が 1 人で 3 校程度掛け持ちをされていたと思うので、こちらが手を差し伸べる余地があると思います。

委員

あともう 1 点。

先程イベントのお話がありましたが、文庫連やおはなしきゃらばんなどの団体と協力して、ミニおはなし会などに広げていくのも、子どもを対象とした本の活動としてはありかなと思います。そういったところの広がりを持って、作っていくのも子供たちに本を親しんでもらうところで、可能性としてできることかなと思います。

佐倉図書館長

ご意見ありがとうございます。

できる、できないは事情があるのでわかりませんが、そういったジョイントについても何ができるのか考えていきたいと思います。

委員長

他にはいかがでしょうか。

ないようですので、次に志津分館の休館日について、説明をお願いします。

[事務局説明]

「志津分館の休館日」について、資料に基づき説明

委員長

志津分館の休館日について説明がありましたが、質問等ございましたらどうぞ。

委員

休館に関しては問題ありません。

一般的に、図書館は守衛や警備員などはいないのでしょうか。

臨時の休みと言っていましたが、今後のことを考えたときに、そういうことも考えるべきだと思いました。

志津図書館長

志津分館は志津市民プラザ内にありますが、守衛や警備員はおらず、1 階の公民館の事務所の職員がその代わりということで見回りをしています。また、志津図書館が入っている西志津ふれあいセンターは守衛がいますので、建物によってそれぞれ管理の方法が異なります。

委員長

今回臨時休館となっておりますが、これが恒久的になるかどうか、教育委員会議などで検討されるのだと思います。とりあえず新年度については、臨時休館で提案するというのでしょうか。

志津図書館長

その通りです。

委員

1 階から 4 階まで自由に行き来ができるとありますが、ここには出張所、児童センター、包括支援センターなど個人情報がたくさんある建物に、女性職員 3 名しかいないというのでは、絶対に休館にすべきです。

委員長

今までも教育委員会内で問題視されていたのでしょ。

志津図書館長

はい、そうです。教育委員会内でも考え方が 2 つあり、市民サービスを向上する観点から休みが少ない方がいいよねという見方が一つ、セキュリティを考えて閉めた方がよいというのがもう一つです。現在教育委員会内では、危ないから閉めるという形で意見が集約されつつあります。

委員長

市長部局と関連する施設でもあり、個人情報が多いので、是非とも真剣に検討していただきたいと思います。

委員

閉めるという考えではなく、セキュリティができるシステムを作るという方向で考えた方がよいと思います。

志津図書館長

既存のセキュリティとしてセコムが入っており、センサー等がありますが、お手洗いの関係でセンサー等がなく盗撮カメラなど仕掛ることができるという話もあり、この話を進めさせていただきました。ご指摘の通り、まずは万全のセキュリティを敷くことが肝要だと理解しています。

委員

考え方次第ですが、私は逆にいつでも開いていること自体がすごすぎると思います。図書館が開いているのが普通の状態だと我々は思っていますが、労働人口が減っているなのでこのサービスがいつまでも続くのは、勘違いだと思います。

薄く広くサービスをするのではなく、十分人員を集められる日に開館するというのも提案としてよいと思います。安全は大事だし、サービスも拡充はしますが、お金が多額にかかるので、佐倉市では曜日を減らしますということも、市民が理解すべき状況だと思います。

委員長

通り一遍の考えじゃなく、多角的に考えて結論を導いた方がよさそうです。
他にはございますか。

委員

志津分館だけに限りませんが、このような休館をする際に、ブックポストはあるのでしょうか。特に志津分館は駅から近いので、返すこともできないのはちょっとどうかなど。返却できるシステムが作れるのであれば、1か所だけ開けることによる施設の光熱費もカットできますし良いのかなと思います。

志津図書館長

志津分館にブックポストはございまして、1階の線路側の入口から入ってすぐのところにあります。

委員長

他にございますか。
ないようですので、協議事項は終わりです。

佐倉図書館長

委員の皆様、様々なお意見ありがとうございました。
この任期で終了となる皆様、色々な議論ありがとうございました。
継続して委員をお願いされる方については、今後もより一層のお力添えをお願いいたします。
それでは会議は終了といたします、ありがとうございました。